

Japan Society of Civil Engineers
International Activities Center

委員会活動

構造工学委員会活動紹介



構造工学委員会委員長
(京都大学) 白土 博通

構造工学委員会は、国際構造工学会（IABSE）の対応窓口として、1953年7月に橋梁構造委員会として発足したことに端を発する。その後、1971年7月に鋼構造委員会と機能を二分して構造工学委員会が設置された。以来、時代の流れとともに、道路、鉄道などの社会基盤施設・構造物の計画、設計、メンテナンスならびにそれを支える基盤・先端技術の研究・開発を対象に活動が行われている。

国際交流に関する主な活動としては、「国際サマープログラム」を開催している。これは、国際教育小委員会が中心となり、留学生を対象に構造物の計画、設計、施工、維持管理に関するテーマのもとに産官学の研究者、技術者によるセミナー、シンポジウムを実施している。これまで2009年、2010年、2014年に開催し、2016年度に4回目を実施する予定である。また、国際委員会の公募による「ジョイントセミナー」には、2003年に「ロングライフ鋼橋のための先端工学」を鋼構造委員会との共催によりバンコクで開催したほか、2012年には、公益信託土木学会学術交流基金の助成を受けて、橋梁の設計・維持管理・補強に関して再びバンコクで開催している。

このほかに、構造工学委員会では、研究小委員会活動をはじめとして、国内シンポジウムの開催、指針・基準類の刊行、図書の出版などさまざまな活動を行っている。このうち、「構造工学シンポジウム」は、日本学術会議のもと、日本建築学会と共同して毎年開催しており、2014年で第60回を迎えた。また、研究小委員会の成果報告として、指針やガイドラインを構造工学シリーズ、構造工学技術シリーズとして発刊している。2010年度には「土木構造物共通示方書Ⅰ（総則、用語、責任技術者、要求性能、構造計画）」及び「土木構造物共通示方書Ⅱ（作用・荷重）」を制定した。さらに、田中賞受賞橋梁を中心にその年の代表的な橋梁を紹介することを目的として、「橋 Bridges in Japan」を1967年以来、毎年発刊している。

構造工学委員会では、今後も引き続き、学会指針、共通示方書の策定などの構造工学における共通事項を取り扱う姿勢にウェイトを置きつつ、常置委員会相互の連携強化や常置委員会をまたぐ新しい分野の開拓を模索するとともに、基準類を海外へ発信したり、国際基準とするなどの国際展開についても継続する予定としている。



2014年国際サマープログラム（講義風景）



2014年国際サマープログラム（現場見学）

参加報告

2015年モンゴル土木学会（MACE）年次大会 参加報告

交流協定を有するモンゴル土木学会（Mongolian Association of Civil Engineers；略称 MACE）の年次大会（MACE Annual Meeting 2015）が、6月18日（木）、19日（金）に首都ウランバートルで開催された。土木学会に参加依頼があり、睦好宏史氏（埼玉大学）、牧剛史氏（埼玉大学）、恵崎孝之氏（国土交通省）、藤田智弘氏（土木研究所）、藤木氏（梓設計）、山口（九州工業大学）が参加した。藤木氏はウランバートル新空港建設に関わっておられ、現地からの参加であった。

今年の MACE 年次大会では総会に加えて、次の3つの国際プログラムが企画された。

- 1) International Seminar on Construction Site Management & Quality Control. International Case Studies
- 2) International Forum on Geotechnics: Immediate Issues and Future Perspectives
- 3) International Roundtable Meeting on PPP. Policy & Implementation. Case studies



写真 - 1 睦好先生の講演

土木学会からは、Seminar で藤木氏、Forum で藤田氏、Roundtable Meeting では恵崎氏が発表された。加えて、睦好先生と牧先生が特別講演をされた（写真1）。日本以外に、モンゴル、韓国、台湾、フィリピンからの参加・発表があり、熱心な意見交換が行われた。参加者、発表数とも、日本の土木学会が特に多く、Ganzorig MACE 会長から感謝された。

モンゴルには土木学会の分会がある。前分会長の Enkhutur Shoovdor 氏は、睦好先生指導の下、埼玉大学で修士号を取得された方で、現在、モンゴル政府の建設・都市開発省（Ministry of Construction and Urban Development）で大臣顧問という要職に就かれている。今回、Enkhutur 氏の計らいで、19日の

朝、日本からの土木学会関係者が建設・都市開発省に招かれ、Tsoigtbaatar Damdi 大臣にお会いする機会を得た（写真2）。ほんの短時間の面会と事前にお聞きしていたが、当日は協力関係の話がはずみ、30分あまりの会合となった。大臣との会合は、Enkhutur 氏がおられてこそ実現したものであり、人的ネットワークの重要性をあらためて認識した次第である。



写真 - 2 Tsoigtbaatar 大臣（左から3番目）、Enkhutur 大臣顧問（右端）と土木学会関係者

今年の MACE 年次大会では、長年、会長を務められた Ganzorig 氏が退かれ、Erdenebat Tsoigtoojav 氏（写真3）が新たな会長に就かれた。MACE との関係も新たな局面を迎えることになる。また、この大会で4名の名誉会員（Honorary Member）が選出された。モンゴルの技術者2名、台湾の Luh-Maan Chang 先生、山口がこの荣誉に浴した。外国人の名誉会員は、我々が6番目とのことであった。



写真 - 3 会長集合写真：Ganzorig 前 MACE 会長（左から2番目）、Kim 大韓土木学会会長（左から3番目）、Erdenebat 新 MACE 会長（右から2番目）、Kim 韓国分会会長（右端）

【記：国際センターモンゴル Gr. リーダー 山口栄輝】

開催報告

世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ第5回シンポジウム—スリランカの電力需要に応えるアップーコトマレ水力発電所建設工事

2015年7月22日、土木会館にて国際センター主催の「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ第5回シンポジウム：スリランカの電力需要に応えるアップーコトマレ水力発電所建設工事」を開催した。

山川国際センター長代行から開会挨拶がなされ、国土交通省海外プロジェクト推進課の平井課長から「国土交通省のインフラシステム海外展開の取り組み」、電源開発(株)の萩原プロジェクトマネージャーから「J-POWERの国際事業と土木技術者」と題する基調講演があった。

その後、前田建設工業(株)の4名の技術者によるアップーコトマレ水力発電所建設工事プロジェクトの紹介では、重力式コンクリートダム、導水路トンネル、地下発電所などの工事の過程について、写真や動画を用いたわかりやすい説明がなされた。また、工事中の様々な課題をどのような工夫で乗り越えていったかについても丁寧な説明があった。

生活面でも様々な苦労があったとのことで、特に工事開始当初は内戦中だったため、緊急事態に備えて常にパスポートとシンガポールまでの航空券等を携帯し、就業後は車両の燃料は満タンにしていたそうである。また、食事面の苦情が多く、食事の量やおかずの組合せについて試行錯誤を繰り返しながら料理人に日本の味を教え込んだとのことであった。

2007年には、某テレビ番組で放送された「世界の果てで働くお父さんに、ありがとうを言いたい」という企画で、本講演のアップーコトマレ水力発電所建設に携わった技術者の父親が取り上げられたとのことで、その番組の様子が上映された。最後に、塚田土木学会専務理事からの挨拶があり閉会した。

今回で本シリーズも5回目の開催となった。国際センターでは今後も継続的に海外プロジェクトを対象としたシンポジウムを開催する予定であるので、奮ってご参加いただきたい。

【記：国際センター情報グループ委員 後岡寿成】



建設現場のパネル展示



前田建設工業の技術者による講演

イベントカレンダー

- 2015年10月11～14日
アメリカ土木学会（ASCE）年次大会開催
（アメリカ・ニューヨーク市）
- 2015年10月28～30日
大韓土木学会（KSCE）年次大会開催（韓国・群山市）

お知らせ

- 土木学会誌の特集記事の概要をJSCEのWebsite（英語版）にアップしました。
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- 土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No. 42が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>

購読申込み

国際センター通信購読の申し込みは以下のURLよりお願いいたします。また、周囲の方に国際センター通信をご紹介いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

〈国際センター通信配信希望者登録フォーム〉

- ・日本語版
<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>
- ・英語版
<http://www.jsce-int.org/node/150>

掲載記事募集します！

国際センター通信では、会員の皆様から幅広く投稿記事を募集しています。テーマはプロジェクト紹介、技術紹介、ご自身の体験談などです。文字数は800字程度で和文または英文でご投稿ください。

〈記事投稿の詳細はコチラ〉

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/47>

編集後記

東京では、夏の猛暑が嘘のように過ごしやすい日々が続いています。東南アジアで勤務していた頃は四季がある日本での生活を恋しく思いましたが、逆に日本での勤務中に海外工事の紹介を目にすると不思議と海外生活が恋しくなります。何時海外勤務になっても良いように、日本の秋を満喫しなければ！（S.O）

〈ご意見・ご質問〉 JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。